

あなたはリードしていますか？ それとも追いつめてますか？

数年前、わたしは友人のケン・ジョンソンと本を共著する機会がありました。その本は、彼の田舎の家の近くで羊を飼育した経験に基づき書かれたものでした。聖書には、羊について多くのことが書かれています。ですので、羊に関する興味深い行動について書き記すことは、教育的であり、啓発的でもあるのです。

聖書には、羊、羊飼い、子羊、群れについて数多くの言及があり、人間が羊と比較されることがよくあります。ですがほとんどの場合、これらの比較はあまりプラスの意味で為されているわけではありません。たとえば、羊は汚く、愚かな動物です。さまざまな困難に陥らざるをえないような状況にたびたびおかれまします。なので、彼らは羊飼いのように、監視し続け、困ったときに助けたり、世話をする誰かを必要としているのです。

羊のユニークな特徴の1つは、羊飼いへの忠誠心です。ある日、ケンの農家を訪れたときに、この特徴を見ることができました。その日、羊は牧草地で静かに放牧されていました。ケンがわたしに、「羊に声をかけてみてよ？」と言うので声をかけてみましたが、何の反応もありません。さらにケンはこう言いました。「羊に向かって怒鳴ったり、口笛を吹いてみたら？」。提案された通りに続けて行いましたが、それでも羊たちは全く反応しませんでした。羊たち全員が突然耳が聞こえなくなったのでしょうか？次に、ケンが普通の声量とトーンで羊たちに呼びかけてみました。そうすると、すぐに羊の群れの全メンバーが顔を上げ、羊飼いであるケンの指示に従おうと注意を払いはじめたのです！

羊の管理によく使われる犬種であるボーダーコリーについての話を最近聞いたことで、今回のこの経験を思い出しました。ボーダー

コリーたちは、羊たちを先導する（リードする）のではなく、吠えたり、じわじわと追いつめることで羊を導きます。これは、強制せずに羊を導くことと非常に対照的な方法です。羊飼いが群れを気遣って案内している間、羊犬は羊たちをイライラさせ、怖がらせたりすらしているのです。

これら2つの対照的なリーダーシップスタイルは、ビジネスや経営のプロの方々がとる手法としても似ています。道を示し、従う人々をガイドすることによってリードする人もいれば、じわじわと追いつめて人々を動かすリーダーも居ます。たとえどちらのアプローチで結果を出すことができたとしても、人を管理し、導くための好ましい方法がもちろんあるわけです。イエス・キリストが残した最も有名なメッセージの1つで、羊飼いの群れの比喩があります。

効果的なリーダーは、知られ、信頼されている。羊飼いとその群れの比喩を使って教えているイエスは、次のように述べています。「しかし、門から入る者は、その羊の牧者です…。羊はその声を聞き分けます。彼は自分の羊をその名で呼んで連れ出します。…彼は、その先頭に立って行きます。すると羊は、彼の声を知っているのだから、彼について行きます。」(ヨハネ 10:2-4)。

じわじわと追いつめるやり方は忠誠心を高めることにつながらない。対照的に、強制や恐れによって導く人は、メンバーたちから「羊飼い」とは見なされません。彼らは、信頼ゆえにこのリーダーに従うというわけではなく、そうする必要があるから従うだけで、忠誠心からではありません。「しかし、ほかの人には決してついて行きません。かえって、その人から逃げ出します。その人たちの声を知らないからです…。牧者でなく、また、羊の所有者でない雇い人は、狼が来るのを見ると、羊を置き去りにして、逃げて行きます。それで狼は羊を奪い、また散らすのです。それは、彼が雇い人であっても、羊のことを心にかけしていないからです。」(ヨハネ 10:5,12-13)。

効果的なリーダーは、自分のことよりも他者のことを顧みる。リーダーが自分のことを心から考えてくれていると思えるメンバーたちは、彼らが本来成すべき義務の要求をはるかに超え、また時には自らのことをも顧みず、必要以上のことを成そうとします。犠牲の精神を示すリーダーには、従いやすいものです。「わたしは、良い牧者です。良い牧者は羊のためにいのちを捨てます…。わたしはわたしのものを知っています。また、わたしのものは、わたしを知っています。一また、わたしは羊のためにわたしのいのちを捨てます。」(ヨハネ 10:11-15)。

もっと深めるために：

1. 皆さんのビジネスやそれぞれが置かれている専門的分野において、上記で学んだ羊と羊飼いに関連した最も重要な考えや原則は何だと思いますか？

2. もしあなたが現在リーダーの立場にいたり、マネジメントの責任を負っている場合、自分自身のことを羊飼いだと思うのでしょうか？それともボーダーコリーのように、じわじわと人々を追いつめているのでしょうか？回答をご説明ください。

3. スタッフに対する関わり方において、羊飼いの役割を果たしているロールモデルのようなリーダーの元で(またはそのような人物と共に)働いたことがありますか？どのように職場で実践されていたか、具体的な例を説明ください。

4. 自分たちのことを信頼して、自分たちのことを顧みてくれると思えるリーダーのためには、求められる以上にもっと一生懸命に人々は働く傾向にあるという意見にあなたは賛成しますか？なぜそう思いますか？あなたの回答をご説明ください。

参考聖書箇所リストです。参照ください：詩編 119:176; イザヤ 53:6; エレミヤ 50:6; ヨハネ 1:29-31, 35; 1ペテロ 2:25, 5:2-6

英語版 Monday's Mana は[こちら](#)

この発行はロバート・タムジー氏によって書かれました。月曜日のマナ®は CBMC が毎週発行しているメールマガジンです。「ビジネスとマーケットプレイスをキリストに」の超教派的働きである CBMC は、1930 年に創立され、世界中で、各業界で働いている従業員や経営者に対してイエス・キリストを宣べ伝える事を目的としています。

©2021 年-この発行の全ての権利はブラジル CBMC・日本 CBMC にあります。